

取付説明書



アルパイン 11型ナビゲーションユニット

車 種	年 式	型 式
N-BOX	H29/9 ～現在	JF3・4
N-BOX カスタム		

平成30年6月現在のものです。6月以降の車両は変更されている場合があります。

ここでの説明は、車両部品の取り外し、キットの取付・配線位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取扱いは、製品付属の取扱説明書をご確認ください。
取付けの際は、製品付属の取付説明書に記載されている注意事項を必ずお読みのうえ、正しく取
付けを行ってください。

※取付け作業の前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。

1

目次

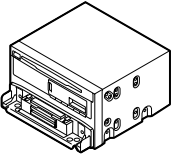
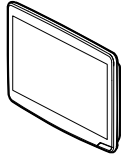
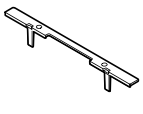
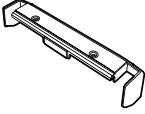
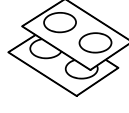
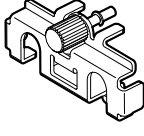
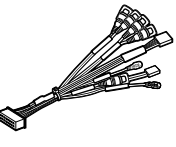
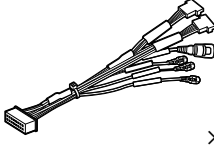
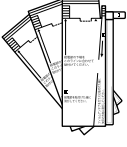
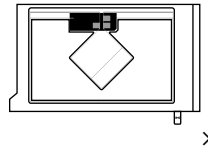
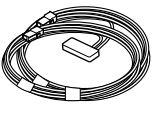
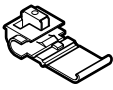
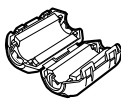
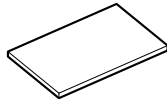
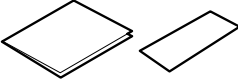
1. 目次	1
2. 必要工具	1
3. 構成部品	2
4. 取付概要	3
5. リアワイドカメラ映像パターンの切り替え方法	3
6. 接続図	4
7. 取付要領	5
1. 車両部品の取り外し	5
2. フィルムアンテナの取付け	6
3. 各コードの接続	6
4. ステアリング連動カメラガイドの取付け	7
5. ナビゲーション本体の取付け	8
6. 車両部品の復元	10
7. ディスプレイユニットの取付け	10
8. 車両部品の動作確認	11
8. 接続確認/システム設定	12

2

必要工具

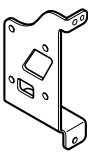
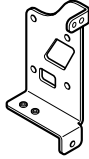
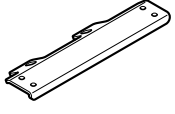
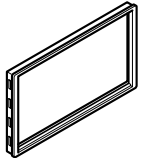
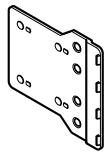
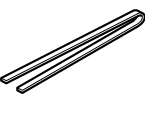
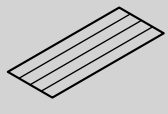
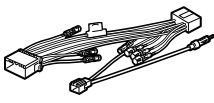
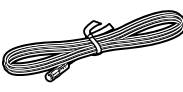
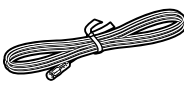
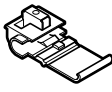
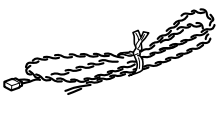
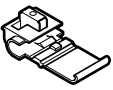
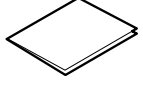
プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、8mm レンチ、カッターナイフ、ニッパー、マスキングテープ、
定規、保護手袋（軍手など）

■ナビゲーションユニット (XF11Z)

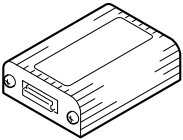
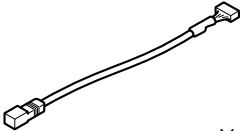
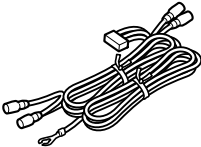
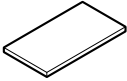
ナビゲーション本体  ×1	モニター  ×1	ディスプレイ検出プレート  ×1	目隠しカバー  ×1	六角ボルト(黒)(M5×8)  ×4
ネジ(黒)(M3×4)  ×2	目隠しシール ※目隠しシールは2枚使用します。残りの2枚は予備として保管しておいてください。  ×4	さらねじ (M5×8)  ×8	バインドねじ (M5×8)  ×8	HDMI固定ブラケット  ×1
外部出力コード  ×1	カメラコード  ×1	テレビ用フィルムアンテナ  ×3	GPS/テレビ用フィルムアンテナ  ×1	テレビ用アンテナコード(4m) (コード番号124)  ×3
GPS/テレビ用アンテナコード(4m) (コード番号3)  ×1	クリーナー  ×1	クランプ  必要に応じてご使用ください ×6	圧着コネクタ  ×1	SDカード (録音用)  本機に挿入済みです ×1
B-CASカード  ×1	フェライトコア  ×2	フェライトコア保護用スポンジ  ×1	説明書・保証書  各×1	

■取付キット

 部の部品は使用しません。

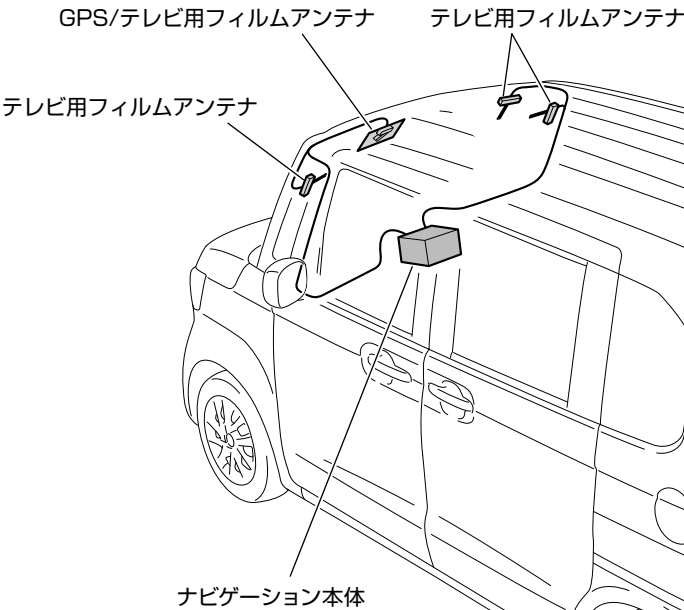
取付ブラケットA  ×1	取付ブラケットB  ×1	取付ブラケットC  ×1	トラスタッピングねじ(φ4×15)  ×4	バインド小ねじ(M4×6)  ×4
ボルト (M5×15)  ×2	専用パネル  ×1	サイドプレート  ×2	スポンジテープ  ×1	バインドねじ (M5×8)  ×8
両面テープ  ×1	電源コード  ×1	パーキングブレーキ延長コード  ×1	リバース延長コード  ×1	圧着コネクタ  ×2
CAN接続ケーブル  ×1	圧着コネクタ  ×2	取付説明書一式  ×1		

■純正カメラ接続ユニット

カメラ変換ボックス	変換ケーブル	AVN接続ケーブル	電源ケーブル	クッション(103mm×65mm)
 ×1	 ×1	 ×1	 ×1	 ×1

4

取付概要

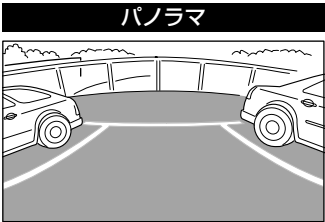


※図は製品を取り付けた取付概要図になります。

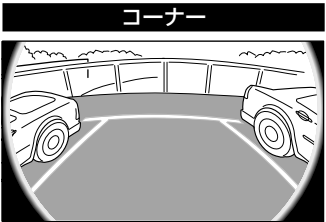
5

リアワイドカメラ映像パターンの切り替え方法

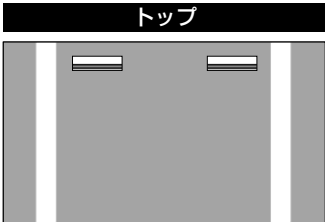
本機を使用してホンダ純正リアワイドカメラを接続した場合、アルパイン製ナビゲーションの画面にて映像パターンを切替えます。各映像パターン選択時の表示方法は下記を参照してください。



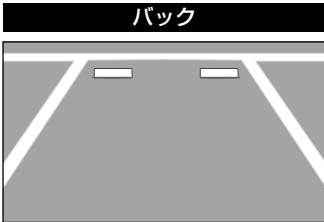
●パノラマビュー
車両後方を全体的に映す映像です。
主に車両後方を全体的に確認したい
ときにご利用ください。



●全画角表示
カメラの最大画角を表示します。



●トップビュー
車両上方から真下方向を映す映像で
す。主に車両後方の段差、縁石、車
止めなどを確認するときにご利用く
ださい。

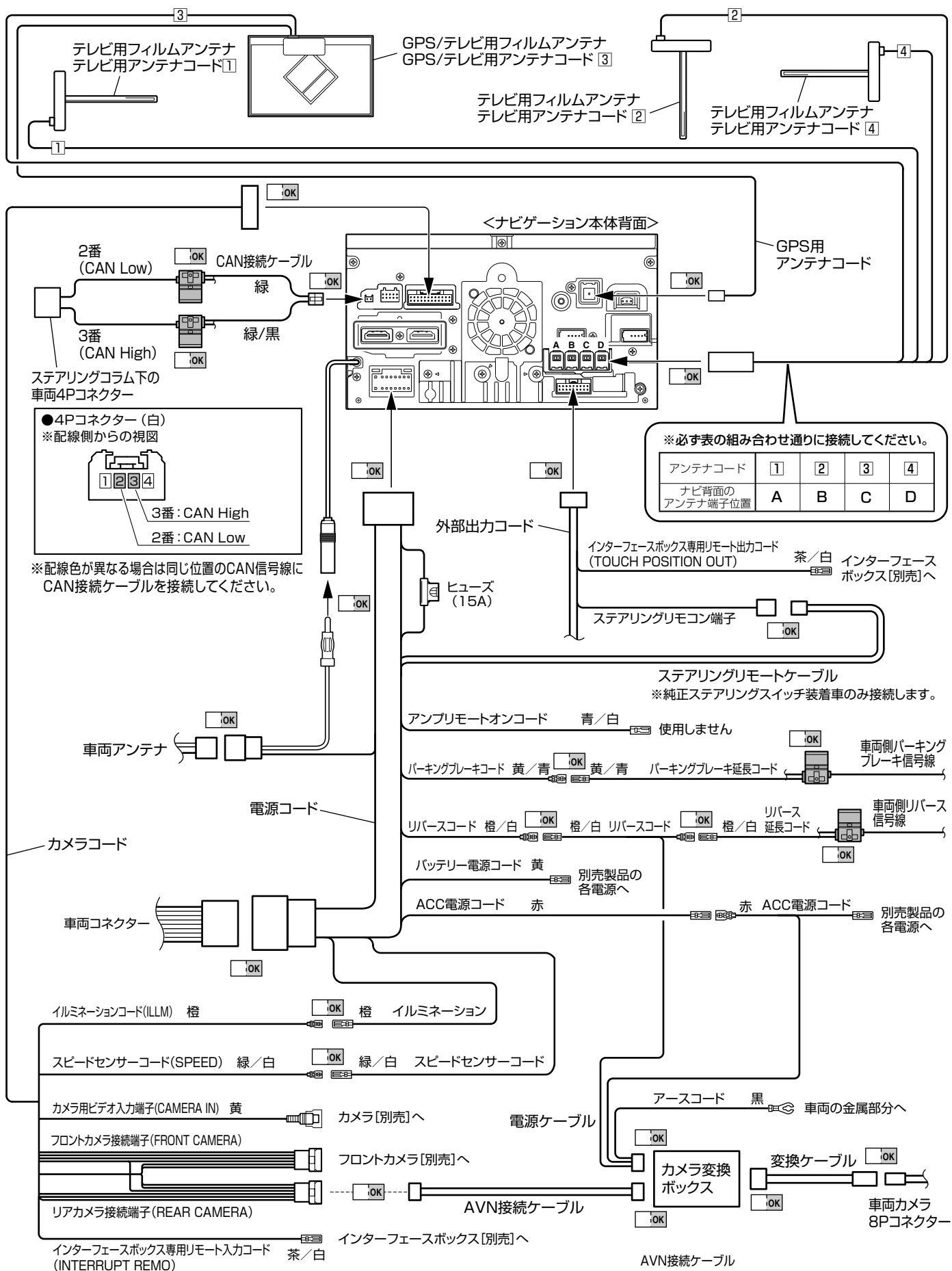


●バックビュー
車両後方を映す映像です。
主に車両後退時に後方を確認する
ときにご利用ください。



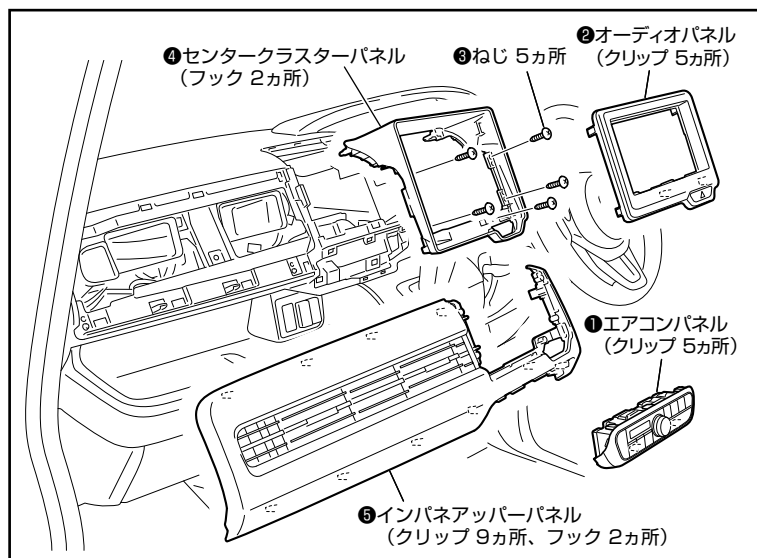
- コーナービューを選択した時のカメラ映像はカメラの最大画角を表示した画像となります。
(ホンダ純正リアワイドカメラがコーナービュー機能に対応していないため)
- カメラ仕様により画面下部に実際のカメラ映像が表示されない範囲があります。

■基本接続図

(誤接続を防ぐために、接続するごとに  に ✓ 点をつけてください)

※配線の仕様は予告なく変更することがあります。

1. 車両部品の取り外し



■インパネ周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

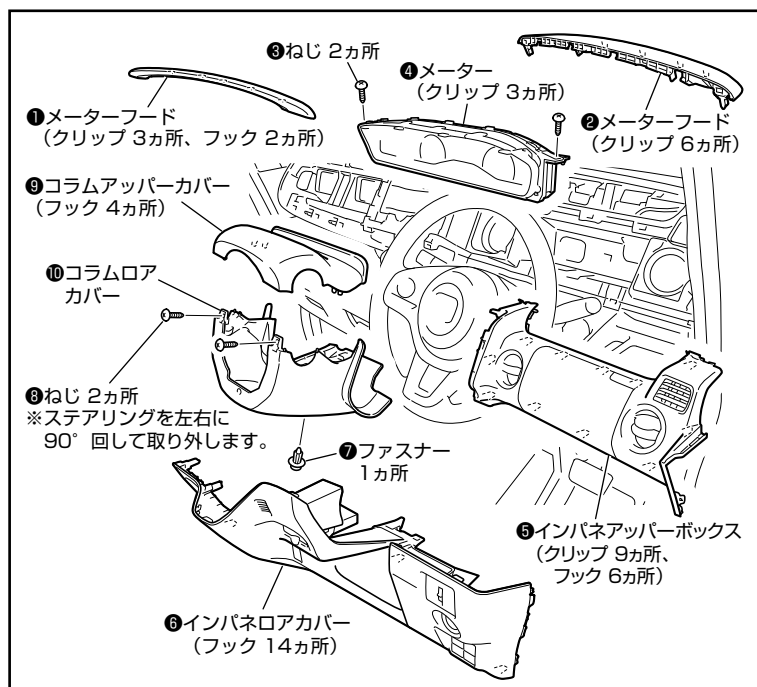


●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじの紛失にご注意ください。



Memo

各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



■メーター周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

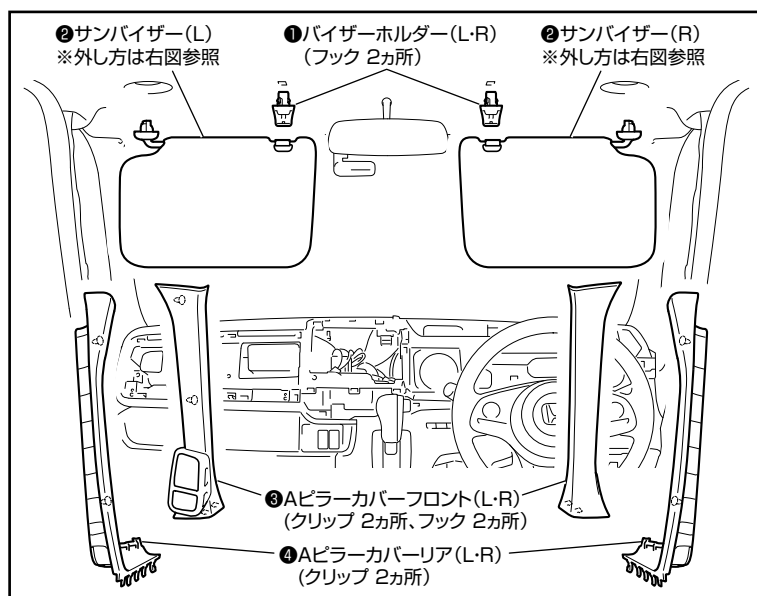


●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじの紛失にご注意ください。



Memo

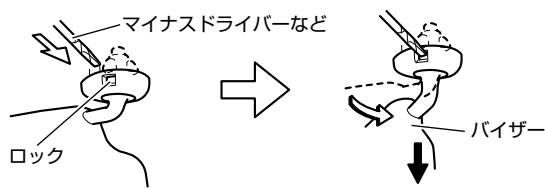
各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



■ピラー周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

<バイザー取り付け部>



<車両前方より見た図>



キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。

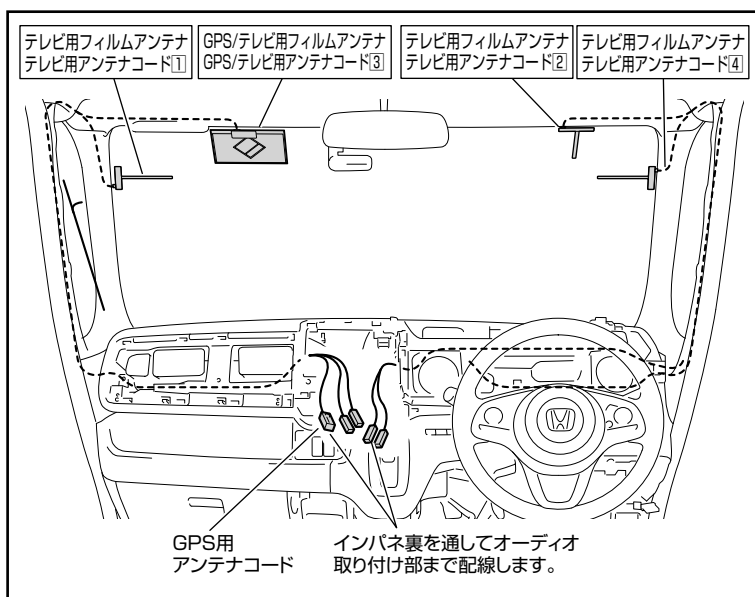
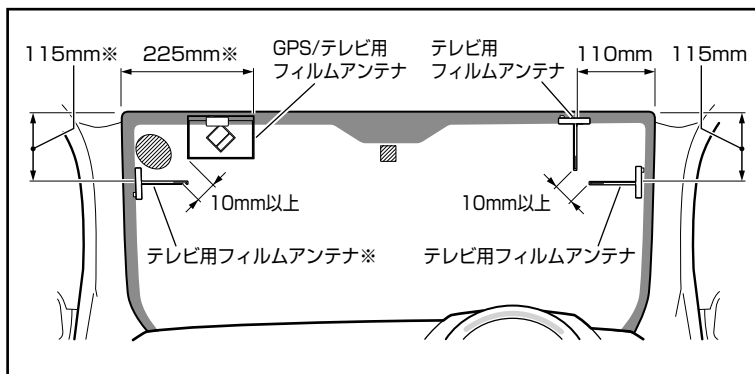


Memo

各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

2. フィルムアンテナの取り付け

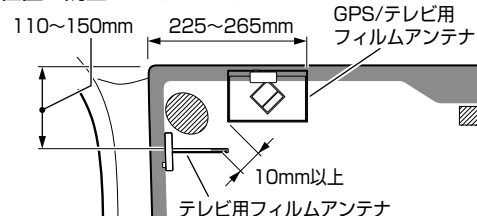
注意 取付方法の詳細については、ナビゲーションユニットの取付説明書もあわせて参照してください。



■フィルムアンテナの取り付け

1. フィルムをフロントウィンドウの室内側に貼り付けます。貼付方法の詳細は、ナビゲーションユニットの取付説明書「フィルムアンテナの取り付け方法」を参照してください。

※助手席側のフィルムアンテナと定期点検ステッカー・検査標章部と干渉する場合は、以下の範囲内で貼付位置を調整してください。



注意

- クリーナーを使用して貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取除いてから貼り付けてください。
- 図の斜線部分の定期点検ステッカー・検査標章部には貼り付けないでください。
- フィルムアンテナは、必ず指定の場所に貼り付けてください。

2. 接続図を参照して各アンテナコードの給電端子を取り付けます。

注意

地デジ受信性能をより向上させるために、必ず決められた位置に取り付けてください。

3. アンテナコードを左図の位置を通してオーディオ取付部まで配線します。

注意

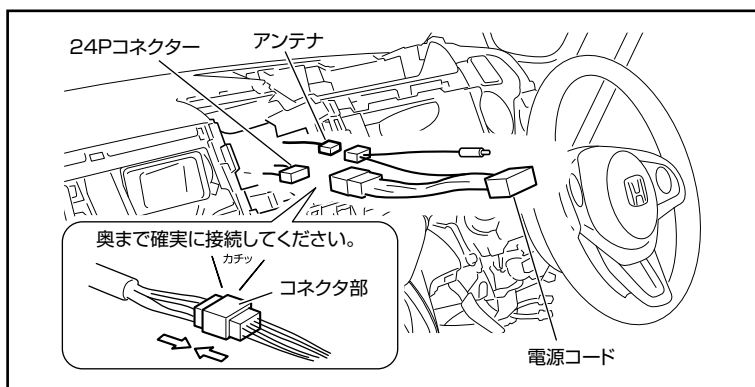
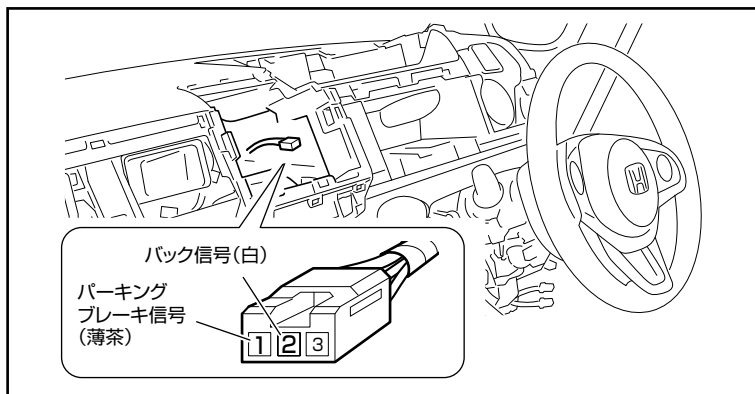
カーテンエアバッグに干渉しないように配線してください。



Memo

- 同じ位置に配線するユニットをすべて取り付けてから、配線を固定してください。
- アンテナの配線余長を束ねる場合は、ナビゲーション裏を避けて束ねてください。

3. 各コードの接続



■パーキングブレーキ信号、バック信号の接続

1. オーディオ取付部にある3Pコネクタより出ているパーキングブレーキ信号線に、圧着コネクタを使用してパーキングブレーキ延長コードを接続します。

注意

ケーブル形状や配線の色は、年式、グレード等により異なる場合がありますので、必ずテスターで確認してから接続してください。

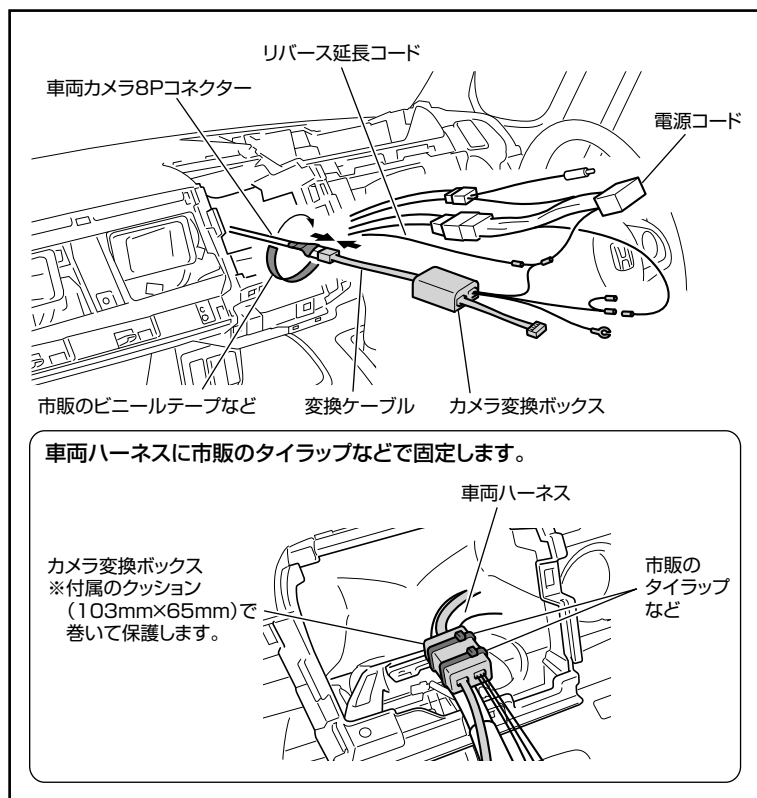
2. オーディオ取付部にある3Pコネクタより出ているバック信号線に、圧着コネクタを使用してリバース延長コードを接続します。

注意

ケーブル形状や配線の色は、年式、グレード等により異なる場合がありますので、必ずテスターで確認してから接続してください。

■電源コードの接続

1. オーディオ取付部にある24Pコネクタとアンテナに電源コードを接続します。



■カメラ変換ボックスの接続

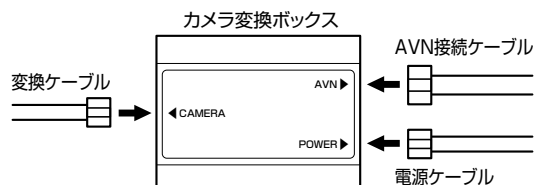
1. 変換ケーブルを車両カメラ8Pコネクタに接続します。



注意 コネクタの抜け防止のため、接続部に市販のビニールテープなどを巻いてください。

2. カメラ変換ボックスに変換ケーブル、AVN接続ケーブル、電源ケーブルを接続します。

＜カメラ変換ボックス接続図＞



3. 電源ケーブルのアース端子を車両の金属部分に接続します。



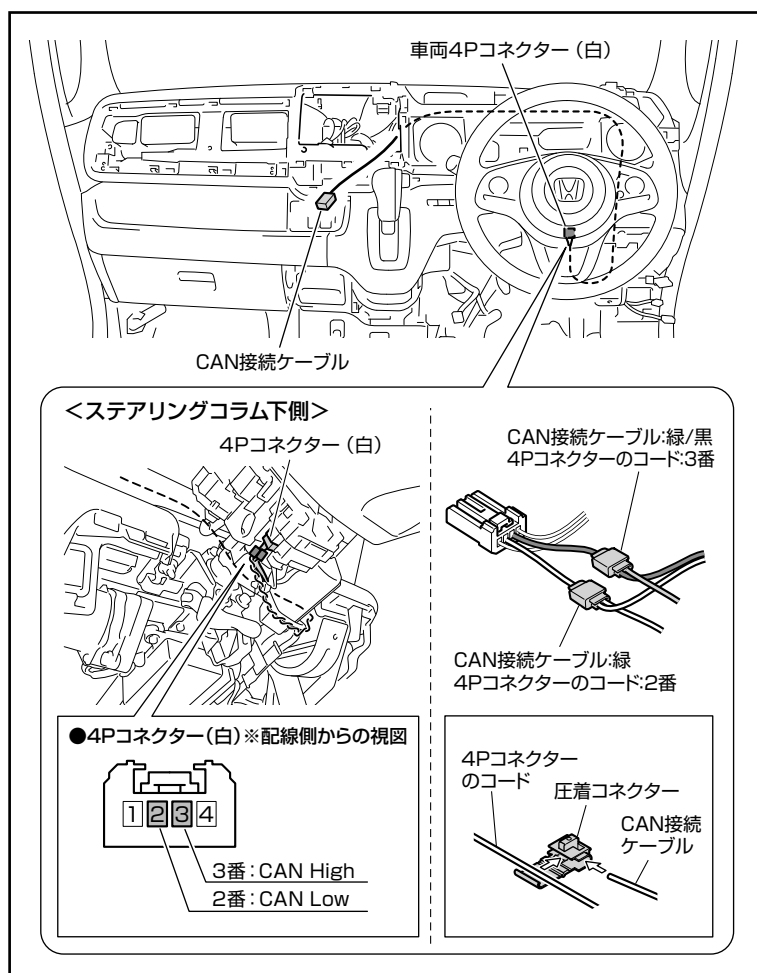
注意 必ずテスターで導通の確認をしてください。

4. 接続図を参照し、電源コードのリバースコードとリバース延長コードにカメラ変換ボックスのリバースコードを接続します。
5. 接続図を参照し、電源コードのACC電源コードにカメラ変換ボックスのACC電源コードを接続します。
6. カメラ変換ボックスを車両ハーネスに市販のタイラップなどで固定します。

4. ステアリング連動カメラガイドの取り付け



注意 作業を行う際は、必ずステアリングを0時の位置に合わせた状態にしてください。



■CAN接続ケーブルの接続

(ステアリング連動バックビューガイド線を使用する場合)

1. ステアリングコラム下側の車両4Pコネクタ (白) のCAN信号線にCAN接続ケーブルを圧着コネクタで接続し、オーディオ取付部まで配線します。

	CAN 接続ケーブル	4P コネクタ
CAN High	緑 / 黒	3 番
CAN Low	緑	2 番

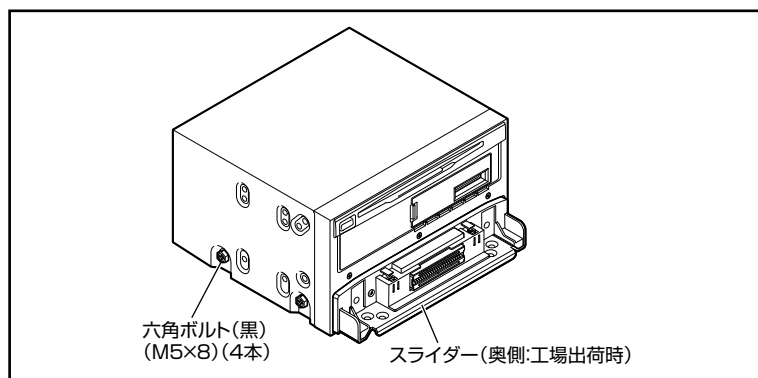


●圧着コネクタはプライヤーで確実に圧着してください。

●車両配線を断線させないようにご注意ください。

●本説明書指定の取付け方法・取付け位置に正しく取付けなかった場合、車両の走行・動作に支障をきたすおそれがあります。間違えないように確実に取付けを行ってください。

5. ナビゲーション本体の取り付け



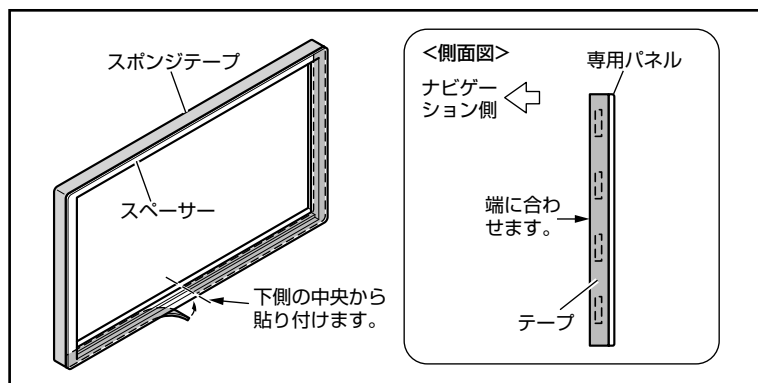
■ディスプレイユニットの前後位置

工場出荷時の状態からスライダーを変更する必要はありません。



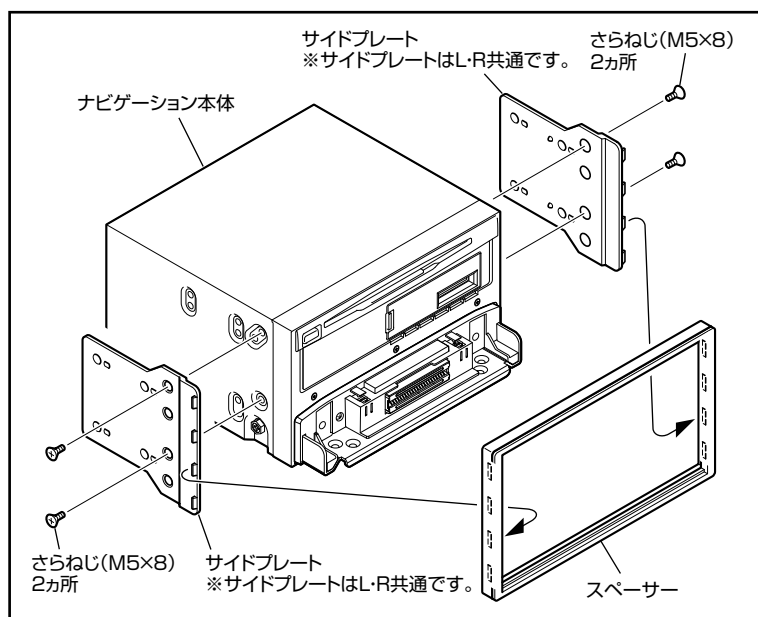
注意

スライダーにガタつきがある場合は、六角ボルト(黒)(M5×8)(4本)に緩みが無いか確認してください。

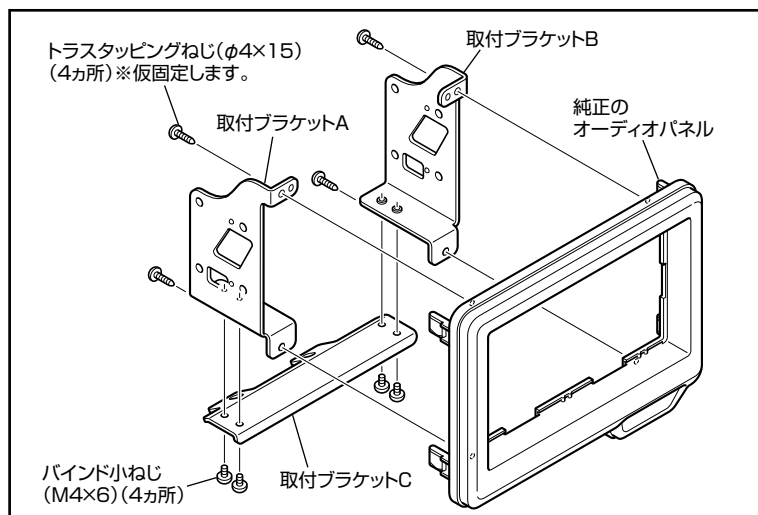


■ナビゲーション本体の取り付け

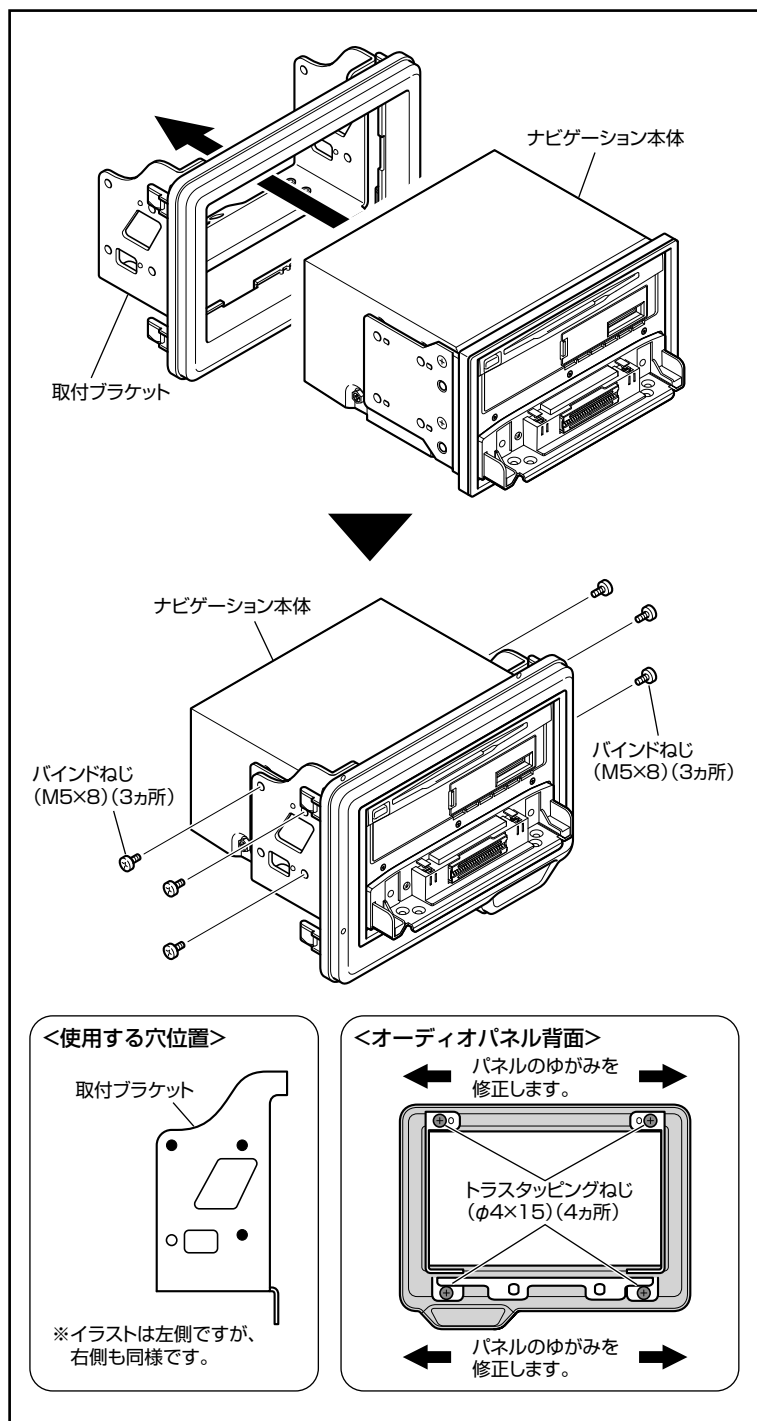
1. スペーサーの図の位置にスポンジテープを貼り付けます。



2. サイドプレートとスペーサーをナビゲーション本体に取り付けます。

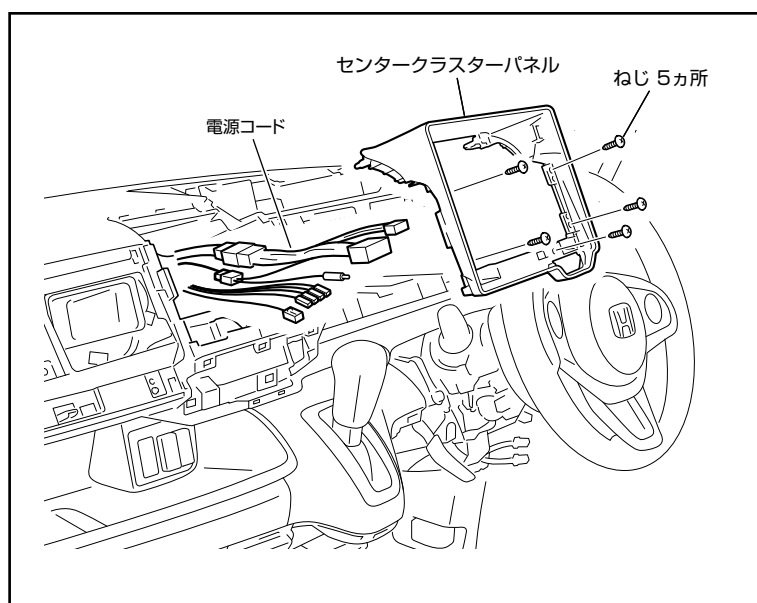


3. 純正のオーディオパネルに取付ブラケットA、B、Cを取り付けます。(トラスタッピングねじ(φ4×15)(4カ所)は仮固定します。)



4. ナビゲーション本体を取付ブラケットに取り付けます。

5. パネルのゆがみを修正し、トラスタッピングねじを本締めします。

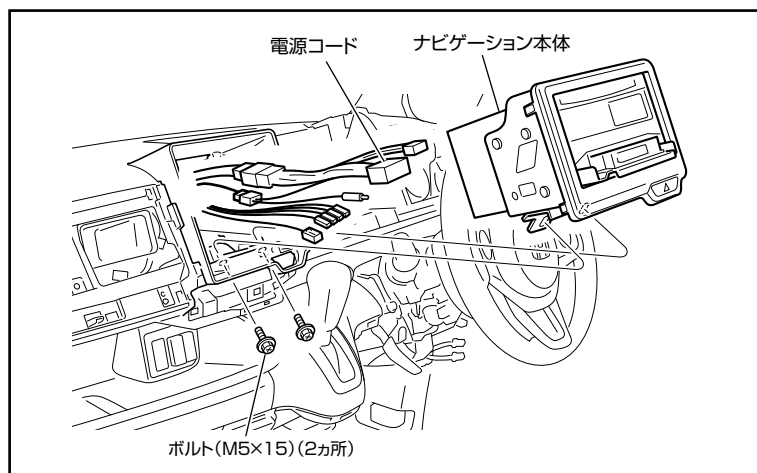


6. インパネにセンタークラスターパネルを取り付けます。



注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。



7. 接続図を参照して配線を接続します。

⚠ 注意

「バックグラウンドサーチ」機能が正常に働くように、ナビゲーションのアンテナ端子は必ず下記の組み合わせ通りに接続してください。

アンテナコード (コード番号)	①	②	③	④
ナビ背面の アンテナ端子位置	A	B	C	D

8. ナビゲーション本体をオーディオ取付スペースに取り付けます。

⚠ 注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

6. 車両部品の復元

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。

⚠ 注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

7. ディスプレイユニットの取り付け

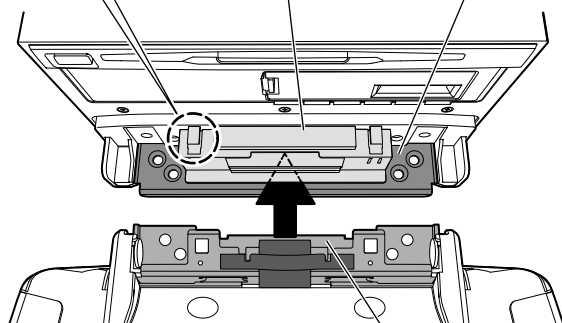
端子保護カバーのフックがロックするまで奥に差し込んでください。

フック 2カ所



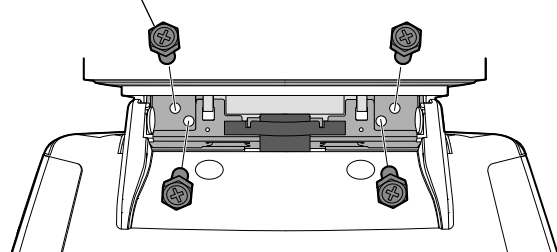
※ディスプレイユニットを取り外す場合は、端子保護カバーのフックが破損しないよう注意してください。

端子保護カバー ベースブラケット



ディスプレイ固定ブラケット

六角ボルト(黒)(M5×8) (4本)



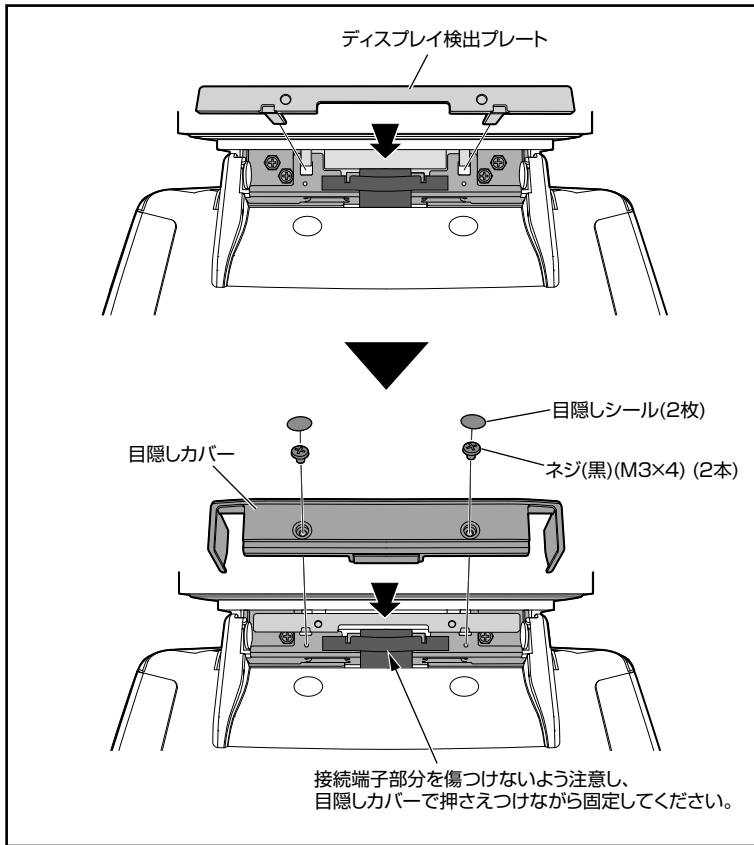
■ディスプレイユニットの取り付け

1. モニターのディスプレイ固定ブラケットの下側を、ナビゲーション本体スライダーのベースブラケットと端子保護カバーの間に差し込みます。

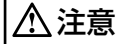
2. 六角ボルト(黒)(M5×8) (4本) でしっかり固定します。

⚠ 注意

六角ボルトでしっかり固定されていない状態でディスプレイの角度調整は行わないでください。



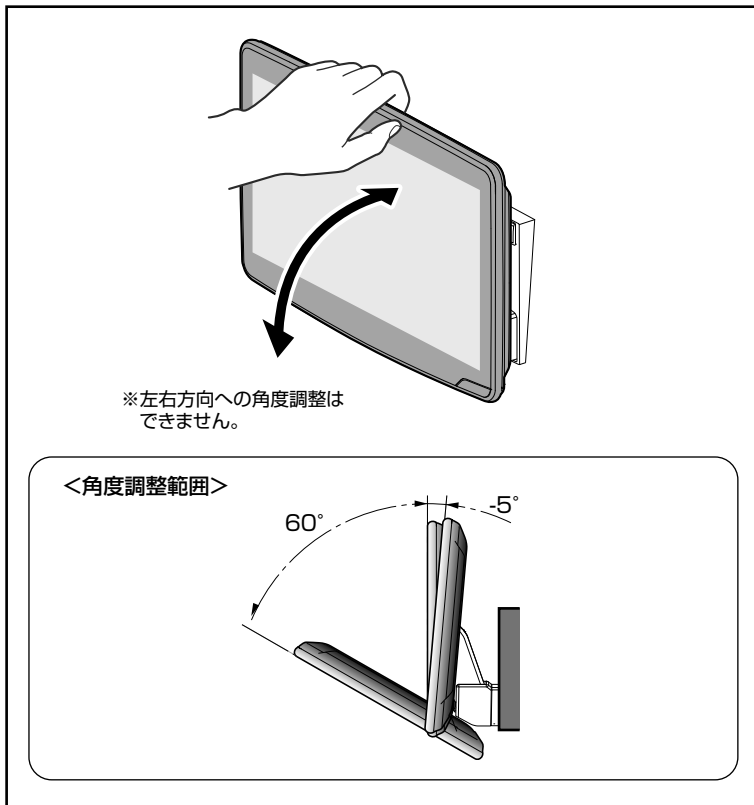
3. ディスプレイ検出プレートを取り付けます。



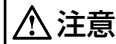
注意

ディスプレイ検出プレートを取り付けないとディスプレイに電源が入りません。必ず取り付けてください。

4. 目隠しカバーをネジ（黒）（M3×4）（2本）で固定し、最後に目隠しシール（2枚）を貼り付けます。



5. ディスプレイの上側を持って角度を調整します。



注意

- システムアップ等で本機を取り外す場合は、必ず本機の電源を切ってからディスプレイユニットを取り外してください。
- ディスプレイユニットをナビゲーション本体から取り外す際は、ディスプレイユニットを落下させないように注意してください。

8. 車両部品の動作確認

■動作確認

1. 電源が入ることを確認します。



注意

バッテリーのマイナス端子を接続する際にステアリングが0時の位置に合っていることを必ずご確認ください。

2. 「[8] 接続確認/システム設定」を参照し、接続状況を確認します。

■車種専用チューニングを行います

本製品には下記の車種専用チューニングデータを格納しております。

【格納車種】

・N-BOX【JF3/JF4】(初期設定) ・N-BOX カスタム【JF3/JF4】

【初期設定時の各設定項目】

リアカメラ接続	サブウーファー	ステアリングリモコン
カメラあり	なし	設定する

【ご注意】

以下の場合のみ車種専用チューニングが必要となります。以下手順にて操作してください。

- ・初期設定の車種 / グレード以外に変更する場合。
- ・リアビジョンを追加する場合。
- ・初期設定以外のカメラ等のオプション品を取り付ける場合。



純正バックカメラ(リアワイドカメラ)については、同梱の純正カメラ接続ユニットを使用してナビゲーションと接続時のみ接続設定できる仕様となっているため、車両への取付け後に必ず接続設定を行ってください。
※設定画面で「純正バックカメラ」が表示されない場合は、純正カメラ接続ユニットが正常に接続されているか確認してください。

【操作手順】

製品起動時に「ようこそ」画面が表示された場合は **はじめる** にタッチしてください。(車種専用チューニング画面へ移行します)
「ようこそ」画面が表示されない場合は以下手順で設定を行ってください。



1. (メニュー)スイッチ ▶ **設定** ▶ **車種専用チューニング** ▶ **車種選択** ▶ **リストから選択**

2. メーカーを選択 ▶ **決定** ▶ 車種を選択 ▶ **決定**

3. 接続機器の設定 ▶ **決定**

- ・リアカメラ接続 : **純正バックカメラ**
- ・サブウーファー : **あり** または **なし**
- ・ステアリングリモコン : **設定する**
- ・リアビジョン※ : **あり** または **なし**

※リアビジョン設定がある車種を選択し、リアビジョンリンク対応リアビジョンを設定している場合のみリアビジョン選択画面が表示されます。

4. 設定内容を確認 ▶ **決定** ▶ メッセージを確認 ▶ **はい**

5. 再起動後、設定した車種のオープニング画面で起動すれば設定終了です。

■接続確認を行います

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPS アンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。

また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 (メニュー)スイッチを押します。

設定・情報画面が表示されます。

2 **情報/更新** にタッチします。



3 **車両情報** タブにタッチし、**車両情報** にタッチします。



車両情報画面が表示されます。

標準装備	接続	オプション	接続
GPSアンテナ	接続	ETCユニット	未接続
ハーキング	ON	ETC/ETC2.0ユニット	接続
イルミネーション	OFF	光ビーコンアンテナ	接続
車速パルス	OFF	TOPVIEWカメラ	接続
バック信号	OFF	リアカメラ	接続
学習結果		フロントカメラ	未接続
距離補正学習	0%		
ヨーレート学習	100%		

・車速パルスは、停車時等車速が入っていない時はOFFと表示されます。



- 「リアカメラ」の接続状態は、バックカメラを接続した場合「未接続」と表示されますが、カメラ表示されていれば使用に問題はございません。
- 車速パルスは、停車時など車速が入っていない時はOFFと表示されます。